

剣岳

標高 125.5m

福岡県 鞍手郡鞍手町

2023年 8月20日

山頂は鞍手町を一望できる自然公園



山頂碑だけを見ると、一瞬北アルプスの最難関「剣岳」と錯覚する(笑)

本日のコース <全行程 24分>

駐車場(剣岳自然公園入口) 13:49 → コンクリート階段 13:50 →
展望台への分岐 13:51 → 東屋で休憩 13:55 → 剣岳山頂 14:00 →
駐車場(剣岳自然公園入口) 14:13

剣岳は地元では「鞍手富士」とも呼ばれるほど美しい山容をした山・・・らしいが、実際には全体像を見ていない。山頂は自然公園として整備されて、お散歩やハイキングには最適。桜の木も目立って、春のお花見シーズンには賑わうだろう。駐車場から山頂展望台まで、のんびり歩いてたったの10分。一度お出かけしてはいかがでしょうか？



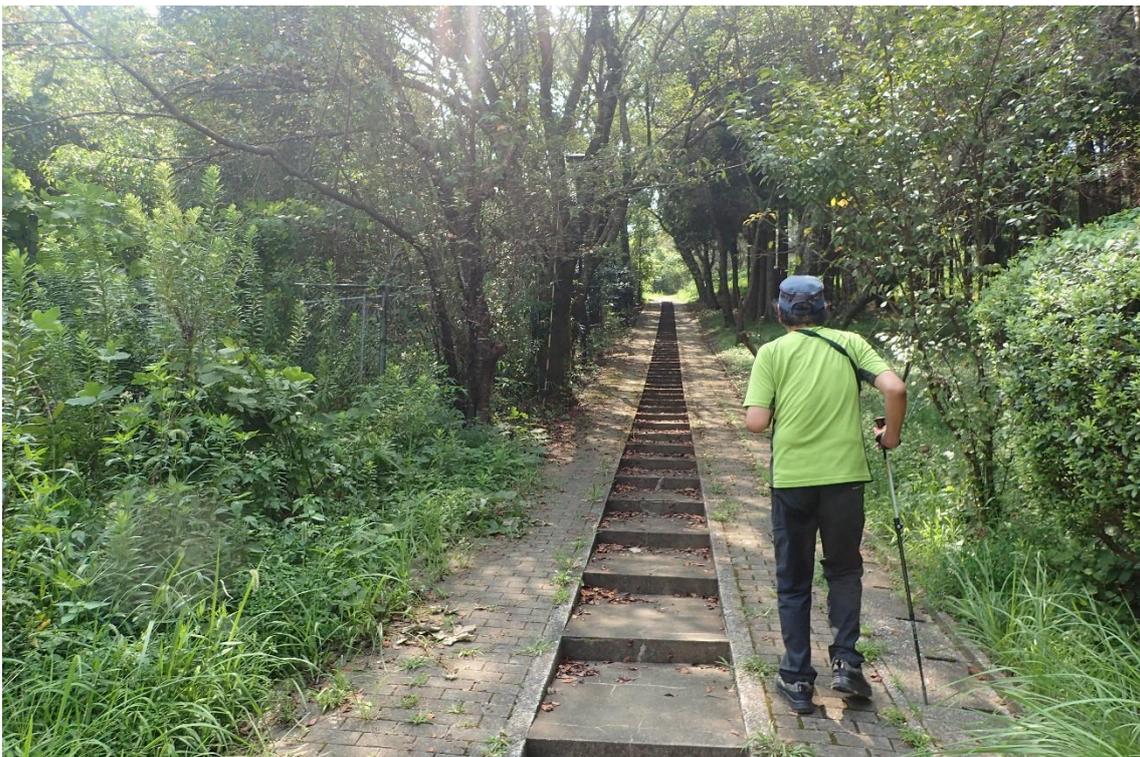
駐車場(剣岳自然公園入口) 13:49



熊野宮跡の碑



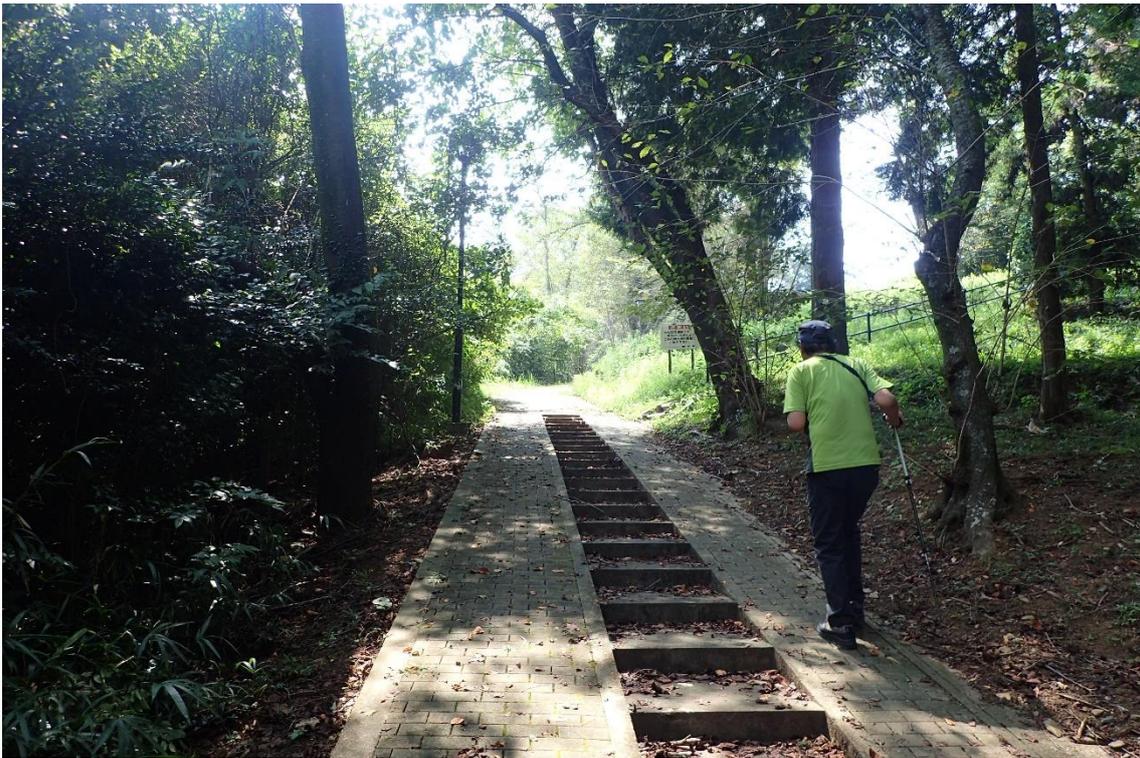
長いスロープ&コンクリート階段の入口



スロープ&コンクリート階段 13:50



植林を見上げながら



単調な一直線のコンクリート道を歩く



山頂展望台への分岐 13:51
左は新北(にぎた)。向かうは右の山頂展望台



この剣岳自然公園は平成3年に整備されたようだ



山頂手前の東屋で休憩 13:55



東屋から遠くに帆柱山系が確認できた



東屋から山頂へ向かう 13:59
昔ここは山城だった。その跡の石碑が所々に設置されている。



土塁跡の石碑



空堀跡の石碑



展望台に近づいてきた 14:00



剣岳城の説明標識

剣岳城の歴史は、いい伝えによると応仁年間(1467～1468年)、梅野土佐(うめのとさ)が築城したことに始まります。

その後、文明年間(1469～1486年)宗像氏の下城となり、野中勘解由(のなかかげゆ)が城代として、宗像氏の防衛にあたりました。

1500年代、秋月氏の支配下におかれ、跡部安芸守(あとべあきのかみ)が城代となりますが、戦乱の世となり、たび重なる合戦ののち、天正年間(1572～1592年)豊臣秀吉が九州を平定したころに落城したと伝えられています。

発掘調査の結果、この城の本丸に、建物跡、井戸の跡が確認されました。そのほか、防衛設備として、本丸の四方に石垣、北東側を除く三方に塹壕、南東側に土塁、北東側に二重の土塁、空堀が築かれています。

また、敵が一斉に攻め込めないように、出入りがコの字状(虎口)に造られています。

このように、剣岳城はその歴史や城の構造から、居城ではなく、防衛設備が整った戦略的な城だったと考えられます。

(説明標識より)



山頂展望台 14:00 さっそく上ってみた



剣岳山頂 14:00 展望台の上に山頂碑があった！ 125.5m



下界を見下ろす



のんびりした時間が過ぎる



先ほど登った六ヶ岳が見える



ズームすると六ヶ岳(朝日岳)の鉄塔を確認することができた
景色を堪能した後に下山に取り掛かった 14:06



駐車場(剣岳自然公園入口) 14:13 ゴール

本日2座目のピークは剣岳。
登って下ってたったの24分でニューピークをゲット！
T師匠の案内で今回も楽しい山歩き。
お世話になりました。